

令和 2 年 第 4 回 農 業 委 員 会 総 会 議 事 録

令和 2 年 4 月 2 日
宮 崎 市 農 業 委 員 会

1. 日 時 令和2年4月2日(木)

午後3時0分開会

2. 場 所 第四庁舎9階会議室

3. 付議事件

[議 案]

議案第23号 特定農地貸付けの承認の取消しについて

議案第24号 農地法第3条許可について

議案第25号 農地法第4条許可について

議案第26号 農地法第5条許可に係る事業計画変更について

議案第27号 農地法第5条許可について

議案第28号 非農地証明について

議案第29号 農用地利用集積計画の決定について

議案第30号 宮崎市農業委員会総会会議規程の一部改正(案)について

[報 告]

報告第19号 専決処分の報告について(農地法第4条第1項第8号)

報告第20号 専決処分の報告について(農地法第5条第1項第7号)

報告第21号 専決処分の報告について(農地法第4条第1項本文)

報告第22号 専決処分の報告について(農地法第5条第1項本文)

報告第23号 申請の取下げ・許可書等の返戻について

報告第24号 相続等による権利移動について(農地法第3条の3)

4. 出席委員

1 番 日 高 隆 志	2 番 岡 武 義	3 番 久保田 章 生
4 番 井 野 義 美	5 番 鬼 塚 健 太	6 番 川 越 定 光
7 番 松 元 明 彦	8 番 川 崎 和 久	9 番 松 田 実
10 番 長 友 紘 子	11 番 川 崎 正 信	12 番 川 越 正 彦
13 番 茜ヶ久保 加 代	14 番 持 原 義 信	15 番 小 倉 俊 博
16 番 片 上 英 行	17 番 比恵島 章 之	18 番 川 越 達 也
19 番 秋 山 広 美	20 番 前 田 峰 子	21 番 中 村 和 寛
22 番 外 蘭 香	23 番 井 田 勝 美	24 番 小 玉 利 光

5. 欠席委員

な し


6. 事務局出席者


局 長	日 高 国 弘	農地調整係長	稗 苗 茂 樹
次 長	西 領 敏 一	農地調整係主査	山之上 智 美
次長補佐兼総務係長	鍋 島 雅 俊	総務係副主幹	迫 田 秀一朗
総務係主事	加 野 歩 夢	農地調整係主査	川 越 昌 志
総務係主事	石 橋 里 彩		


7. 市長部局出席者

な し

署 名 委 員

議 長 松 田 美 

委 員 川 崎 正 信 

委 員 井 田 勝 美 

午後 3 時 0 分開会

○議長（松田） これより令和 2 年第 4 回宮崎市農業委員会総会を開会いたします。

それでは、まず、本日の議事録署名委員を指名いたします。

議事録署名委員は、11 番川崎正信委員、23 番井田勝美委員を指名いたします。

それでは、日程第 2、議案審議ですが、議案全般につきまして、事務局次長に説明をいたさせます。

○事務局（西領） 本日の日程でございますが、お手元に総会の会期及び議事日程等を配付させていただいております。

議案につきましては、特別な事情がない限りは、これまでどおり 1 ページごとの審議でお願いしたいと考えております。

それでは、提出議案につきまして御説明いたします。

議案書表紙の裏面を御覧ください。本日は 8 議案の御審議をお願いいたします。

議案第 23 号「特定農地貸付けの承認の取消しについて」は 4 件でございます。議案第 24 号「農地法第 3 条許可について」は 14 件でございます。議案第 25 号「農地法第 4 条許可について」は 3 件でございます。議案第 26 号「農地法第 5 条許可に係る事業計画変更について」は 1 件でございます。議案第 27 号「農地法第 5 条許可について」は 21 件でございます。議案第 28 号「非農地証明について」は 2 件でございます。議案第 29 号「農用地利用集積計画の決定について」は 59 件でございます。議案第 30 号「宮崎市農業委員会総会会議規程の一部改正（案）について」は 1 件でございます。以上、審議件数は 105 件となっております。

なお、農地法第 3 条及び農用地利用集積計画による担い手への農地集積面積は、12 万 1,280.03 平方メートルでございます。そのうち、委員の関わりによる農地集積面積は、12 万 1,280.03 平方メートルでございました。今回は農地法第 3 条の申請の中で担い手への集積面積がなかったため同数となっております。

説明は以上でございます。御審議方よろしくをお願いいたします。

○議長（松田） これより議案審議に入ります。

議案第 23 号特定農地貸付けの承認の取消しについて、1 ページを議題とします。

○事務局（山之上） 特定農地貸付けの承認の取消しについて御説明いたします。

特定農地貸付けの承認とは、いわゆる市民農園を開設する際に必要な手続のことで、本案件の説明の前に市民農園について御説明いたします。

本日お手元に、「市民農園をはじめよう」と書いた資料をお配りしております。この資料をもとに御説明させていただきます。

資料表紙の下段に記載されたとおり、市民農園とは、サラリーマン家庭や都市部の住民のレクリエーション、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習などの目的で、農家でない方々が小さい面積の農地を利用して自家用の野菜や花を栽培する農園のことをいいます。

市民農園は、自治体、農協、農家、NPO法人などが開設できるようになっています。

続きまして、資料の2ページを御覧ください。

市民農園の開設方法を御説明いたします。

市民農園の開設方法は、「貸付方式」と「農園利用方式」の2つがあります。

貸付方式とは、農園利用者に農地を貸す方式で、今回の案件にもなっております特定農地貸付法の手続が必要となります。通常、農地の貸し借りについては、農地法第3条の許可もしくは農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画の告示が必要ですが、特定農地貸付けの承認を受けた農地については、これらの許可などが不要となります。

農園利用方式とは、利用者に直接農地は貸さず、農園の管理者の指導の下で農園利用者が継続的に農作業を行う方式です。農園利用方式の場合は、農地法などの手続は必要ありません。

なお、農園の開設に合わせ、敷地内に倉庫や休憩施設などを設置する場合は、市民農園整備促進法の手続が必要となります。

それでは、今回の案件について御説明いたします。

本案件の市民農園は、貸付方式の市民農園で、平成27年1月に特定農地貸付法の承認を受けております。

特定農地貸付法の承認を受けるためには、農地の管理方法などについて農地がある市町村と協定を結び、また貸付期間や賃料など市民農園の運営方法についての規定を

定め、これらを添付し、農地が存在する農業委員会に承認申請を行います。

申請を受けた農業委員会は、市民農園の位置や面積が適当であるか、募集や選考の方法が公平であるか、貸付期間やその他条件が適正であるかなどを審査し、これらの要件を満たしている場合に承認されます。

なお、この承認について、特定農地貸付法施行令第4条第3項によれば、承認の際に提出した貸付規定に従って特定農地貸付けを行っていない場合は、その承認を取り消すことができるとされております。

本案件につきまして、議案下段の記載のとおり、利用者の減少や運営者の高齢化などにより農園の維持管理が困難になり、また隣接する道の駅高岡ビタミン館の施設管理者により、当該地を道の駅利用者の憩いの場として整備したいとの申出があり、売却及び貸借することとなったため、令和2年3月31日をもって特定農地貸付けを廃止するとの申出を受けております。これは、さきに説明したとおり、特定農地貸付法施行令第4条第3項の規定に該当するものと判断されるため、承認の取消しについて、議案として上程しております。

また、本議案について、承認が得られた場合には、別紙にてお配りしておりますとおり、地権者に対し、承認取消しの通知を発送することとしております。本議案に合わせて御審議いただきますようお願いいたします。

なお、隣接する道の駅高岡ビタミン館の施設管理者からの憩いの場としての転用申請は、12ページの議案第27号94、13ページの95で上程しております。

説明は以上です。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、承認することに決しました。

議案第24号農地法第3条許可について、2ページを議題とします。

○事務局（山之上） 農地法第3条許可について御説明いたします。

農地法第3条許可の審議につきましては、農地法第3条第2項各号に規定する許可基準に合致するかどうかを審査しております。今回、係る基準を充足すると認められた案件について申請を受理し、議案として上程しております。

なお、認定農業者などが受人となっている案件については、その旨を備考欄に記載しております。

それでは、主な案件について御説明いたします。

番号33、34、36を御覧ください。関連がありますので、併せて御説明いたします。

受人の経営面積は2,335平方メートルとなっておりますが、今回の3件の申請で総経営面積が5,242平方メートルとなり、法第3条の農地の権利取得者としての要件を満たすことから、申請を受理し、議案として上程しております。

以上、御審議方よろしく申し上げます。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可することに決しました。

次に、3ページから4ページの41番までを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可することに決しました。

次に、4ページから5ページの46番までを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可することに決しました。

次に、議案第 25 号農地法第 4 条許可について、6 ページを議題とします。

○事務局（山之上） 農地法第 4 条許可について御説明いたします。

農地法第 4 条許可につきましても、法第 4 条第 2 項各号に規定する許可基準であります、転用事業に係る位置やその事業規模、事業の実現可能性などに適合するか否かについて審査しています。審査に当たり、農地区分は事務局として記載のとおり判断し、係る基準を充足すると認められたため、申請を受理し、議案として上程しております。

それでは、主な案件について御説明いたします。

番号 11 を御覧ください。

申請人は、宮崎市大字新名爪在住の個人です。申請地は、宮崎市大字新名爪にあります宮崎県立宮崎北高等学校から北東に約 1.8 キロメートルの場所に位置する土地です。本案件は、申請地に一般個人住宅を建築したく申請に及んだものです。

申請地の農地区分は、周辺農地の広がりから「第 1 種農地」となりますが、不許可の例外である「集落接続」に該当しております。申請地の周囲は一部農地と接しておりますが、ブロックを設置し土砂の流出を防ぎ、雨水は地下浸透で処理、また生活排水は公共下水道に接続し処理することから、周辺農地への影響はないものと思われます。その他の許可基準も充足していることから、議案として上程しております。

次に、番号 12 を御覧ください。

申請人は、都城市に本拠を置く農畜産物の生産・加工・販売などを行う法人です。申請地は、宮崎市高岡町内山にあります宮崎市立高岡中学校から東に約 1 キロメートルの場所に位置する土地です。本案件は、農地法の許可を得ず、申請地の一部に哺育舎などを建て利用していたことから、追認申請に及んだものです。

申請地は、農業振興地域の農用地区域に位置しておりますが、平成 27 年 5 月に農用地から農業用施設用地に用途変更を行っており、不許可の例外である「農用地利用計画に指定された用途」に該当します。申請地の周囲は申請人所有の土地になってい

ることから、周辺農地への影響はありません。始末書の提出もあり、その他の許可基準も充足していることから、追認もやむを得ないものと判断しております。

以上、御審議方よろしく申し上げます。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

議案第 26 号農地法第 5 条許可に係る事業計画変更申請について、7 ページを議題とします。

○事務局（山之上） 事業計画変更につきましては、農地法関係事務処理要領により、転用許可後に、転用事業者が、転用目的の変更を希望した場合、また転用事業者に代わって、転用を希望する者があるときには、事業計画変更申請を行わせ、変更の承認について審査することとされています。

計画変更の承認に当たっては、変更後の周辺農地への影響や事業の実現可能性などが変更前と比較して同程度であるか、変更後の事業も転用許可基準により許可相当と認められるかについて審査しています。

それでは、番号 2 を御覧ください。

本申請は、公共工事に伴い、現場事務所などとして利用するため一時転用の許可を受けたものですが、工期が延長になったことから利用期間の延長が申請されたものです。

以上、御審議方よろしく申し上げます。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

議案第 27 号農地法第 5 条許可について、8 ページを議題とします。

○事務局（山之上） 農地法第 5 条許可について御説明いたします。

農地法第 5 条許可につきましては、法第 5 条第 2 項各号に規定する許可基準であります、転用事業に係る位置やその事業規模、事業の実現可能性などに適合するか否かについて審査しています。審査に当たり、農地区分は事務局として記載のとおり判断して、一時転用を含め、係る基準を充足すると認められたため、申請を受理し、議案として上程しております。

それでは、主な案件について御説明いたします。

番号 77 を御覧ください。

申請人のうち、渡人は宮崎市錦本町在住の個人、受人は宮崎市江平中町に本拠を置く土木工事業などを営む法人です。申請地は、宮崎市大字新名爪にあります宮崎県立宮崎北高等学校から北西に約 2 キロメートルの場所に位置する土地です。本案件は、農地法の許可を得ずに、申請地を宮崎県発注の新別府川樹木伐採・河道掘削工事に伴う「土砂等仮置場」として一時利用していたことから、追認申請に及んだものです。

申請地は、農業振興地域の農用地区域内に位置しておりますが、不許可の例外である「一時転用」に該当しております。申請地の周囲は農地と接しておりますが、新たな造成は行わず、雨水は地下浸透及び道路側溝へ放流し処理することから、周辺農地への影響はないものと思われれます。始末書の提出もあり、その他の許可基準も充足していることから、追認もやむを得ないものと判断しております。

また、その他の案件においても追認案件がございますが、始末書の提出もあり、その他の許可基準も充足していることから、追認もやむを得ないものと判断しております。

なお、同様の「農用地区域」で「一時転用」に該当している案件は、8 ページの番号 78、79 がございます。

次に、番号 80 を御覧ください。

申請人のうち、渡人は宮崎市清武町在住の農家、受人は宮崎市清武町在住の個人で、親子の関係でございます。申請地は、宮崎市清武町木原にあります宮崎大学医学部附

属病院から北西に約 800 メートルの場所に位置する土地です。本案件は、申請地に一般個人住宅を建築したく申請に及んだものです。

申請地の農地区分は、周辺農地の広がりから「第 1 種農地」となりますが、不許可の例外である「集落接続」に該当しております。申請地は一部農地と接しておりますが、周囲にブロックを設置し土砂の流出を防ぎ、雨水は雨水枡を設置し道路側溝へ接続し処理、生活排水は公共下水道にて処理することから、周辺農地への影響はないものと思われます。その他の許可基準も充足していることから、議案として上程しております。

以上、御審議方よろしく申し上げます。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

次に、9 ページを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

次に、10 ページを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

次に、11 ページを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

次に、12 ページから 13 ページの 95 番までを議題とします。

○事務局（山之上） 番号 94、13 ページの番号 95 を御覧ください。関連がありますので、併せて御説明いたします。

先ほど御説明した議案第 23 号の案件です。市民農園として利用されていた申請地を公園・ドッグランとして利用したく申請に及んだものです。所有権移転と賃貸借権設定で権利が違うことから、それぞれ申請しております。

以上、御審議方よろしく申し上げます。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

○18 番（川越達也委員） 転用の事由が公園とドッグランとなっていますが、それぞれの筆が対応していますか。

○事務局（山之上） 申請地 304-4 と 304-6 の 2 筆を公園として、293-1、304-1 をドッグランとして利用するように申請されております。以上です。

○議長（松田） ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

次に、13 ページを議題とします。

御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ許可相当とすることに決しました。

議案第 28 号非農地証明について、14 ページを議題とします。

○事務局（稗苗） 議案第 28 号非農地証明について説明いたします。

この非農地証明につきましては、登記簿の地目が農地または農地台帳に登載されている農地で現況が非農地化していることを証明するものです。

非農地化の事由として、主に、昭和 27 年の農地法施行以前から農地以外の土地であること、10 年以上耕作放棄され将来的にも農地としての利用が困難な土地、周囲の状況から見て、その土地を農地として復元しても利用することができないと見込まれる場合があります。

それでは、2 件の案件について御説明いたします。

申請番号 5 及び 6 は、登記簿地目が畑であります。現況は宅地になっており、昭和 23 年当時の航空写真によっても同様の利用がなされていることが確認できました。

これらのことから、2 件の案件は非農地証明の認定基準に合致しております。

なお、この案件につきましては、3 月 19 日に地元農業委員と現地調査を行い、現況が農地でないことを確認しております。

以上、御審議方よろしく願いいたします。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、承認することに決しました。

議案第 29 号農用地利用集積計画の決定について、15 ページから 39 ページまでの利用権設定分を議題とします。

○事務局（石橋） 議案第 29 号農用地利用集積計画の申出につきましては、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号に規定されております、市の基本構想に適合することや、農地の効率的利用、農作業の常時従事などの各要件を満たしていると考えられるため、今回、議案として上程するものでございます。

中間管理による貸借につきましては、15 ページの番号 61 番から 17 ページの番号 65 番までの 5 件でございます。

利用権設定につきましては、18 ページの番号 221 番から 39 ページの番号 262 番までの 42 件でございます。

内訳といたしましては、使用貸借権の再設定が 3 件、新規設定が 5 件、賃借権の再設定が 16 件、新規設定が 18 件となっております。

以上、御審議方よろしくお願いいたします。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ決定することに決しました。

次に、40 ページから 46 ページの所有権移転分を議題とします。

本人に関わる案件がございますので、川越正彦委員の退室を求めます。

（12 番川越正彦委員退室）

○事務局（石橋） 農用地利用集積計画の申出のうち、所有権移転につきましては、40 ページの番号 263 番から 45 ページの番号 274 番までの 12 件でございます。

以上、御審議方よろしくお願いいたします。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、それぞれ決定することに決しました。

川越正彦委員の入室を求めます。

（12 番川越正彦委員入室）

○議長（松田） 議案第 30 号宮崎市農業委員会総会会議規程の一部改正（案）について、46 ページを議題とします。

○事務局（加野） 議案第 30 号宮崎市農業委員会総会会議規程の一部改正（案）について御説明いたします。

議案書 46 ページを御覧ください。

改正の概要及び新旧対照表となっております。新旧対照表につきましては、右側が現行の規程、左側が改正案となっており、改正する箇所については下線を引いております。

新旧対照表を御覧ください。

過去の改正に伴う条項等の追加により、第 7 条審議事項に係る関係条項に差異が生じているため、現規程の条項と整合するよう文言の修正を行っております。

また、事務の簡素化を図るため、第 16 条規程の改正に軽微な改正に関する文言の追加を行っております。

なお、別紙で改正後の規程を配付しておりますので、お目通しをお願いいたします。

説明は以上です。御審議方よろしくをお願いいたします。

○議長（松田） 事務局の説明は以上のとおりですが、御意見ございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 特に御意見もないようですので、採決に入ります。

本案件に賛同される委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松田） 全会一致、承認することに決しました。

これより報告案件を議題とします。

事務局次長に説明を求めます。

○事務局（西領） 本日の報告案件につきまして御説明いたします。

報告書表紙の裏面を御覧ください。

報告第 19 号は、農地法第 4 条第 1 項第 8 号に係る「専決処分の報告について」でございまして、その数 12 件でございます。

報告第 20 号は、農地法第 5 条第 1 項第 7 号に係る「専決処分の報告について」でございまして、その数 11 件でございます。

報告第 21 号は、農地法第 4 条第 1 項本文に係る「専決処分の報告について」でございまして、その数 3 件でございます。

報告第 22 号は、農地法第 5 条第 1 項本文に係る「専決処分の報告について」でございまして、その数 16 件でございます。

報告第 23 号は、「申請の取下げ・許可書等の返戻について」でございまして、その数 3 件でございます。

報告第 24 号は、「相続等による権利移動について（農地法第 3 条の 3）」でございまして、その数 7 件でございます。

なお、報告第 19 号、第 20 号につきましては、局長の専決処分により受理されたもので、備考欄に専決日を記載しております。

第 21 号、第 22 号につきましては、過去の総会において承認されたもので、それぞれ会長の専決処分により許可されたものでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（松田） ただいま専決処分等につきまして報告がありましたが、御意見はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（松田） 御意見なければ、報告案件はこれにて終わります。

本日の総会はこれをもって閉会してよろしいでしょうか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（松田） 御異議なしと認めます。よって、令和 2 年第 4 回宮崎市農業委員会総会を閉会いたします。

午後 3 時 42 分閉会